

成果指標				
成果指標	実施箇所÷予定箇所×100			
指標設定の考え方	参画と協働の郷づくりの拠点整備を行う。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標28年度
目標	100	100	100	100
実績	100	100	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	老朽化などの理由により改修が必要な集会所に対する、トイレの洋式化・水洗化やエアコンの設置による機能向上、外回り塗装による機能維持などについて、費用面での負担軽減を図ることで地域の取組みを後押しすることができた。地域住民の活動拠点を健全な状態に確保する事業であり、今後も継続していく必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	本事業は地域からの要望に基づき、集会所の改修、修繕について2分の1補助を行なうもので、事業成果は挙がっており、住民自治推進のための支援策として引き続き推進していく必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題